

みんなでやらいや!

～まちづくり活動報告(第6回)～

<視察地>

●「大村地区公民館」

(鳥取市用瀬町)

●「ふれあいサロンやまだ」

(北栄町由良宿)

▶大村公民館で「ちまき作り」



住民手作りの「支え愛」

目的 住民による地域づくり、交流の場づくりの研究のため。

調査日 6月13日(水)

参加者 6地区のまちづくり委員、1集落、3団体、役場職員の計37名

まちづくり先進地視察

交流の場づくりに関心のあるまちづくり委員が、県内2か所の視察を行いました。

を学ぼう

「大村地区公民館」

鳥取市用瀬町の8集落から構成される大村地区は公民館を中心として半径2kmの範囲に収まる地域。人口は約1,100人、高齢化率は27・1%。

「地域のことは自分たちで」という思いの中、まちづくり協議会を設立し、まちづくり計画を作成。合併まで大村地区公民館は中央公民館的役割であったが、協議会設立を機に公民館と協議会の機能を担い、コミュニティづくりの中心となっている。

交流の場づくりの取り組みは、協議会の健康福祉部会が中心となり、垣根なく集える場所を目指し、公民館の一角を開放した公民館カフェの設置、また、月に1回開催する高齢者を対象とした会食付きのサロンを実践されている。

周辺の赤波集落でも月に1回自治公民館を開放し喫茶を開設。ボランティア精神と皆で地域を支えようという心の温もりを感じた。

「ふれあいサロンやまだ」

代表 山田早百合さん

「二人でいることのさみしさと不安の払拭、皆とふれあい、楽しく過ごすことが生きがいである」との思いのもと、自宅の一角を開放し、誰でも、いつでも、どこからでも、来てもらえる居場所づくりを実践。スタッフは身



種原集落の皆さん(4名)

山田さんの「やり方に決まりはない」という自由な発想に共感した。まずは自分たちでできることから、集落の若い人も巻き込んで仲間を増やし取り組みを進めたい。

まちづくり上中山地区委員

山下敏子さん

「おもしろそう、ちょっと寄ってみようか」という交流の場づくりの大切さをこの研修で、改めて感じた。

視察参加者の声

まちづくり高麗地区会議会長 谷野保人さん

大村地区は、規模が高麗地区とほぼ同じで、まちづくり協議会と公民館の関係、組織のあり方がとても参考となった。事務局体制もしっかりしており、高麗地区会議も、将来的には組織化が必要と感じた。視察で感じたこと、感動は、忘れないよう今後の実行につなげたい。

内を含めボランティア5人。町の支援はなく、社会福祉協議会から介護予防事業としての補助、月1万5,000円が活動費。
不足分は参加者負担と自らの年金で補う。
1日平均15人が訪れ、「自分たちがやりたいこと」を地域の堪能な方に指導いただき楽しんでる。引きこもっている人をいかに連れ出すかがこれからの課題。



▶「ふれあいサロンやまだ」